

(様式 1 - 表)

令和 8 年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	10	豊田市立 野見小 学校	代表	朱山 智之
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テ マ	地域とのかかわりを深め、地域を愛する野見の子の育成	分野	b	地域連携
サブテーマ	野見の「ひと もの こと」に学ぶ	[(その他)は分野を右欄に記入]		
学校づくりの視点(ねらい)	<p>本校の北方は商業施設が広がり、市街地も比較的近く、交通の便もよい。南方は矢作川や野見山の雑木林があり、自然に触れることができる。また、野見神社や曾根遺跡等歴史的価値のある施設もある。これら地域の恵まれた自然や施設・環境等を生かした取組を進めることで、地域への愛着を深め、子どもたちのふるさとづくりを図る。特に、子どもたちが「野見小学校のすてき」を再発見するような取組を行っていく。</p> <p>その目標を達成するため、野見の「ひと、もの、こと」に体験や見学を通して学ぶ活動を展開していく。</p> <p>(1) 学校のために働いてくださる方々から学ぶ。 (2) 地域の自然、施設、産業等に学ぶ。 (3) 地域の歴史や伝統に学ぶ。</p>			
活動内容・計画	<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の「ひと・もの・こと」を活用した生活科、総合的な学習の時間の充実 ・地域と連帯した学習環境の整備 ・調べ学習の充実のための環境整備と読書指導の充実 ・見つける力、調べる力、伝え合う力を育てるための、題材の設定 ・地域との連帯や交流を深める活動 ・地域の教育力の活用 ・地域講師の活用と交流、地域人材リストの整備 <p>【活動計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の探検を通して、地域の自然・文化などに関わり地域のよさを体感する活動をする。 ・地域の伝統芸能を継承するための活動をする。 ・地域の環境実態調査やエコ活動を通して、野見の環境を守る活動へとつなげる取組をする。 ・地域の人とかかわりを通して、福祉を学ぶ活動をする。 ・かつて野見地区で盛んに行われた養蚕業に関する体験学習を行う。 			
補助員配置	<ul style="list-style-type: none"> ・校内整備員 			
実績・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科や総合的な学習の時間を中心に、各学年のテーマにそって取り組むことで、学校全体としての系統性をもつことができる。 ・地域の人々と交流したり、話を聞いたりするというコミュニケーションを図る活動を通して、学校以外の多くの人とふれあい、人間性豊かな心を育むことができる。 ・地域講師の活用により、地域に根ざした学習を展開することができる。そうした学びの中で地域のよさを実感することで地域に対する愛着と誇りをもつ子どもたちを育成することができる。 ・学生ボランティア（養護教諭）の活用により、特色ある活動における児童の安全を確保できる。 ・校内整備員を置くことで、自然豊かな学校を安全な教育資源として活用できる。 ・校内整備員を置くことで、学校菜園や校庭の整備ができ、子どもたちが安心、安全に活動に取り組むことができる。 			
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で計画実施した活動(交流)での、子どもたちの活動のようす、1 2月の学習発表会の内容、ふり返りの記録から検証する。 ・地域の方、学校共働本部、地域講師の方の声や、学校評価アンケートで検証する。 			